

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公表番号】特表2011-513774(P2011-513774A)

【公表日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-017

【出願番号】特願2010-548009(P2010-548009)

【国際特許分類】

G 02 B 6/42 (2006.01)

【F I】

G 02 B 6/42

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月24日(2012.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

請求項1又は2記載の方法において、

前記保持要素(30)の凹部内でのファイバ軸線に沿った前記光ファイバ(20)の案内部の前記摺動は、前記基準対象物(41)に対して前記保持要素(30)の位置を変化させることなく行われる方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

請求項1～3の何れか一項に記載の方法において、

前記光ファイバ(20)の案内部は、ファイバ軸線と直交して一定である断面を有し、前記摺動は、前記ファイバ軸線に沿った光ファイバ(20)の案内部の変位を含む方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

請求項1～4の何れか一項に記載の方法において、

前記光ファイバ(20)の案内部は、ファイバ軸線と直交する円柱状の断面を有し、前記摺動は、前記ファイバ軸線の周りにおける前記光ファイバ(20)の前記案内部の回転を含み、複数のファイバ素子と前記光透過面(23)とファイバコアとのうち少なくとも一つが非回転対称な形状を有すること、並びに前記光ファイバ自身が少なくとも非回転対称な光学特性及び複数のファイバコアのうち少なくとも一つを有することの少なくとも何れか一つである方法。